

2020年7月31日

## 横浜ゴム、トラック用ウルトラワイドベース スタッドレスタイヤ「903W」を新発売

横浜ゴム（株）は、トラックの後輪に使用するウルトラワイドベースタイヤとして、新たにスタッドレスタイヤ「903W（キューマルサン・ダブリュー）」を2020年秋より全国のヨコハマタイヤ販売会社を通じて販売開始します。発売サイズは455/55R22.5 166Lの1サイズで、価格はオープンブライス。

ウルトラワイドベースタイヤとはトラックやバスに装着される複輪（2本1組）を単輪（1本）に置き換えることができる超偏平シングルタイヤ。単輪への置き換えにより、タイヤ組み換え・日常点検などの省メンテナンス化や、「903W」の場合、単輪への置き換えにより1軸当たり約111kgの軽量化<sup>※1</sup>が可能となることから、例えば後輪2軸の大型トラックでは、約222kg<sup>※2</sup>の積載量を増加させることが可能となります。

「903W」はタイヤの回転方向と平行にスチールコードを配置したベルト層を有する独自開発のベルト構造「SpiraLoop<sup>®</sup>（スパイラループ）」を採用。これにより、当社従来ベルト構造でウルトラワイドベース化を行った場合に弱点となるショルダー部の成長とベルト部の歪みを抑制させ、優れた耐偏摩耗性と耐久性を確保することができ、タイヤの長寿命化に貢献します。また、トレッドパターンは、氷雪上性能重視型スタッドレスタイヤ「ZEN 903ZW」をベースに、ブロックエッジ量を増加させる「小ピッチワイドグループ」やブロック剛性を維持し接地面積を確保する「6列トラクション Z ブロック」を採用し、これらをウルトラワイドベースタイヤ用に最適に配列することで、優れたスタッドレス性能を発揮します。

横浜ゴムでは近年のトラック・バス用タイヤのシングル化需要に合わせウルトラワイドベースタイヤの販売を加速しており、日本ではトラック用オールシーズンウルトラワイドベースタイヤ「902L」を2019年に本格導入しています。

横浜ゴムは、中期経営計画「グランドデザイン 2020（GD2020）」においてタイヤ生産財事業を次の100年の収益の柱とすることを掲げ、トラック・バス用タイヤの拡販に取り組んでおり、独自技術である「SpiraLoop<sup>®</sup>」を採用した超偏平シングルタイヤを北米や日本で積極的に展開しています。

※1：（11R22.5の当社トラック・バス用スタッドレスタイヤ「ZEN 903ZW」+スチールホイール）×2本に対し（455/55R22.5の「903W」+アルミホイール）×1本の場合

※2：1軸当たりの軽量化できる重さ約111kg×2軸＝約222kg

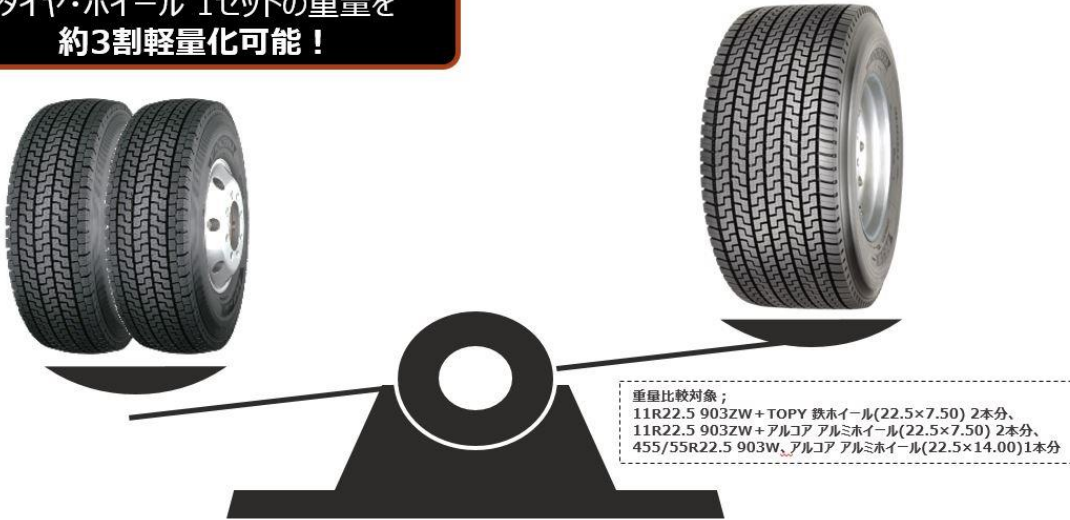


## ウルトラワイドベースタイヤのメリット

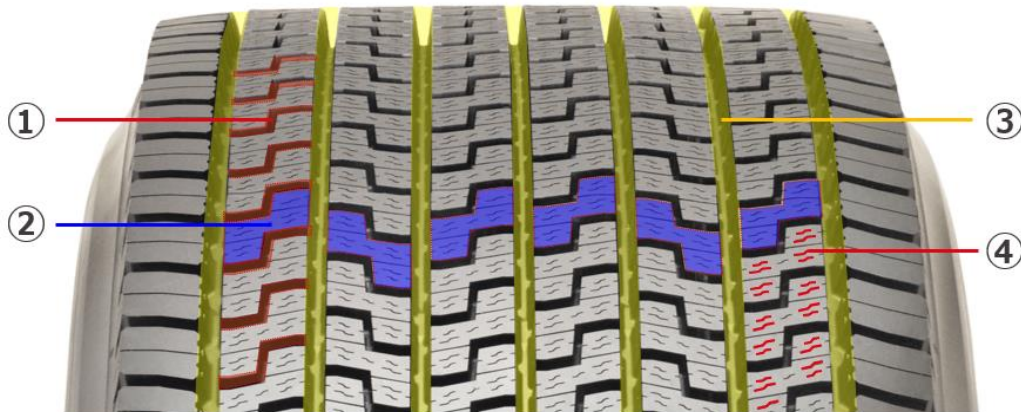
タイヤ・ホイールセット重量の軽量化を実現し、積載量の増加が可能

11R22.5×2本+アルミホイール×2本 ⇒ ▲33kg (1軸 : ▲66kg)  
 11R22.5×2本+鉄ホイール×2本 ⇒ ▲56kg (1軸 : ▲111kg)

タイヤ・ホイール 1セットの重量を  
約3割軽量化可能！



## 氷雪上性能、耐偏摩耗性に貢献するパターン



①小ピッチワイドグルーブ  
 多数のラグ溝を配置し、雪の目詰まりを防止  
 ブロックエッジ量を増加させることで  
**氷雪上性能**を向上

②6列 トラクションZブロック  
 小ブロック&サイブ多数配置による  
 ブロック剛性低下を補い、接地面積を確保し  
**氷雪上性能**と**耐偏摩耗性**を両立

③7本ストレートグルーブ  
 排水性、排雪性、横方向のエッジ効果により  
**ウェット&氷雪路面上性能**を向上

④高密度クローズドトラスサイブ  
 ブロック剛性を確保しながらエッジ成分増を実現  
**氷雪上性能**を向上

## 耐偏摩耗性と耐久性を確保する「SpiraLoop®」

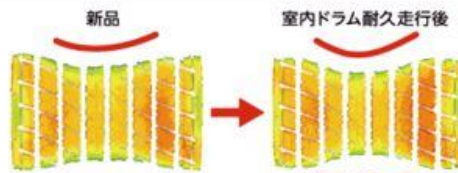
### 「SpiraLoop®」を採用する事による効果

- ①ショルダー部の成長を抑え偏摩耗を抑制
- ②ベルト部の歪を抑え耐久性を向上

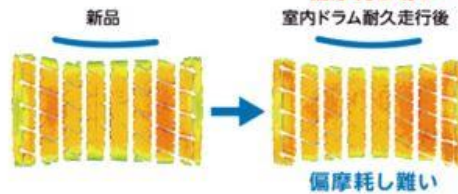
優れた耐久性を確保しながら  
偏摩耗を抑制しタイヤの長寿命化に貢献



当社従来の  
ベルト構造



従来はショルダー部が成長し  
接地形状が悪くなる



接地形状がほとんど変わらず  
ショルダー摩耗を抑制

このリリースに関するお問い合わせ先

横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：池田

TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570